



新規就農特集

半田の若き農業ルーキー

半田市で農業をはじめ、日々奮闘する若き農業ルーキー取材し、農業をはじめのきっかけや農業の楽しさ・魅力、こだわりなどを聞きました。『ブドウ農家の岩元祐樹さん』と『養鶏農家の大橋辰紀さん』をご紹介します。



▲ブドウの枝管理をする岩元祐樹さん

トライ&エラーを繰り返し、日々挑戦!! 成功のためには、たくさん失敗が必要

一度きりの人生を楽しみたい

大学卒業後、会社員として2年間勤めた後、ブドウ農家での3年間の研修を経て昨年独立した岩元さん。

会社員時代、朝早くから夜遅くまで働く忙しい生活を送るなか、「なにかやるなら好きなことを」と考えるようになり、仕事で農業に関わっていたことから、農家の道を選んだそうです。

農業の魅力は、ひとりであるからこそ、いいことも悪いことも全部自分に返ってくるのだと話します。時間の融通が利くため、家族との暮らしに合わせて仕事ができるのも◎。

試行錯誤の日々

研修生時代、師匠からの教えは、「成功のためには、たくさん失敗を」ということ。その言葉どおり、岩元さんは、人がやらないことにも取り組みます。使われていなかった農地を整備し、ブドウ棚等の施設も手作り。「こうした方がよかったかな」と思うことがあっても、自分で考えてやることが。次、改善すればいい結果が返ってくる日々挑戦しています。

初収穫できる喜び

ブドウの苗を植えて3年。今夏、待望の初収穫を迎えます。「将来は、農林水産大臣賞を目指してがんばりたい。」と岩元さん。

夢に向かって進み続ける姿は頼もしく、今後の活躍を応援しています。

